

『島根大学赤十字奉仕団への ピアエデュケーション』

1. 目的

自分たちが学びながら同世代の女性に伝えていくため勉強会を行う。

2. 日時

2012年7月7日(土) 15:00~17:00

3. 場所

日本赤十字社島根県支部

4. 参加人数

学生：4名、赤十字奉仕団：11名（男子7名、女子4名）

5. 内容

1) いなたひめ 挨拶



♥自己紹介タイム

風船を使って自己紹介

お互いに質問しあい、緊張をほぐす

2) いなたひめプロジェクト紹介

- ・名前の由来
- ・活動の目的
- ・これまでの活動の紹介

3) 子宮頸がんの説明

- ・病気について

《質問》

感染方法は？ 性行為だけ？
遺伝する？ 円錐切除後は再生する？



♥ワークシートを用いて知識を確認

文章の抜けているカッコ内に記入する

4) 体験談紹介

- ・子宮頸がんワクチンを接種した感想
- ・子宮頸がん検診を受診しての感想

《質問》

費用は？ 接種回数は？ 副作用は？



5) ワークシートの答え合わせと解説

♥グループワークと発表



6) 発表

♥グループワーク

- ・今日学んだことの確認
 - ・友人に検診へ行ってもらうにはどうするか！？
- 「検診に行くときはスカートがいいよ！」
など、より具体的な話も



6.まとめ

同世代の人と、楽しく共に学ぶことが出来て大変良い勉強会になり、今後の啓発活動に役立てる。

- ・「予防が得！」と説得する・結構気楽に受診できることを伝える
- ・冊子を渡す・検診に行きたくなる、検診に行かないといけない空気を作る
- ・彼氏からの働きかけが効果的。

『第 12 回アジア・オセアニア性科学学会参加』

1. 目 的

アジア・オセアニア性科学学会は、アジア・オセアニアの性に関する専門家が集まる国際学会である。第 12 回アジア・オセアニア性科学学会が松江市で行われるため、学生による子宮頸がん啓発活動を発表する。

2. 日 時

2012 年 8 月 3 日 (金), 4 日 (土) 15:00~16:00

3. 場 所

松江くにびきメッセ

4. 参 加 人 数

8 月 3 日 (金) 学生 : 3 名、実行委員 : 4 名

8 月 4 日 (土) 学生 : 7 名、実行委員 : 4 名

5. 学 会 参 加 者

約 500 名 (15 か国、海外からの参加者は約 10%)

6. 抄 録 原 稿

Educational activities aimed at women-specific cancer prevention conducted by college students.

1: Shimane University 2: The University of Shimane 3: The Japanese Society of Cytotechnology, Shimane Branch

Mayu Okamoto¹⁾, Kozue Koreeda²⁾, Akiko Yata²⁾, Miho Arata²⁾, Akari Notsu²⁾, Chiharu Hironaka²⁾, Yoko Kono¹⁾, Shizuko Koumi³⁾, Yukiko Koike²⁾, Fumiko Hirano²⁾, Yoshie Kono¹⁾

Objectives: Although the incidence of women-specific cancers, notably breast and uterine cancer, continues to increase, screening rates remain low. The 'Inatahime Project' is a campaign promoting awareness and prevention of female cancers among the younger generation, launched in Shimane by a group of 27 university students and supported by professionals (gynecologist, cytotechnologist and nurse).

Methods: 1) A total of 69 young mothers were called on during 5 visits to the local community in order to promote and stress the importance of the breast self-exam (BSE) and cancer screening. 2) Since 2011, a series of 11 lectures has been given at local universities and festivals, whereby a total of 690 individuals answered our questionnaire. 3) Two lectures were presented as a live event under the title 'No Life, No Music' with the assistance of a rock-band.

Conclusions: 1) 80% of the young mothers had taken breast cancer screening and/or cervical cancer screening. 2) Analysis of the questionnaires provided the following results :54.0% (87/346) of the participants were aware of the link between HPV and cervical cancer.64.8% (217/335) were aware of the possibility to prevent cervical cancer among women in their 20s by attending screening sessions.77.9% (225/289) knew the number of people dying of breast cancer is increasing.44,5% (121/272) knew the screening rate for breast cancer in Shimane is the lowest in Japan. 3)Half of the audience attending the live event came to hear the rock-band performance, proving these events are meaningful in attracting younger people with no interest in female-specific cancers.

We think that educational activities aimed at prevention of female-specific cancers organized by female college students are meaningful and greatly effective in attracting the younger generation.

7.内 容

①8月3日(金) ポスター発表と口演を行った。

Room 501 15:40- 演者: 岡本茉由

会場から「学生への指導、後継者の育成はどうしているのか」という質問があった。

②8月4日(土) ポスター発表

場 所: 多目的室 15:00~16:00

参加人数: 学生 7名

学生達がポスターの横に立ち、
英語で質問に答えました。



8.ま と め

自分たちの力では国際的な場を踏むことが絶対できなかつたと思うので、とても貴重な経験をさせてもらいました。本当にありがとうございました。

まず、資料を作成するにあたり、今まで啓発する資料を作ることがほとんどだったので、結果をプレゼンする資料の作り方(目的、方法、結果、考察の順番や配置の仕方など)を学ぶことができました。また、英語で作ったので、英語の勉強にもなりました。英語力のなさを実感しました。

また、学会当日はオーラル・ポスターディスカッションとともに、女子大生という若い人たちの活動という点に興味をもってもらえたみたいで、私たちが活動している意味があったと感じました。

他の人の発表やポスターなども見ることができ、勉強になりました。国際学会ということでインドネシアの家族とも交流することができたのも貴重な体験でした。

私たちのポスターにも興味を持ってくださる方が数人おられて、嬉しかったし、これからも自分ができることを少しずつ頑張っていきたいと思います。今回、国際学会という大きな舞台上で発表させてもらい、とてもいい経験になりました。

グローバルな環境に触れてもっと視野を広くしたいと感じました。



(イベント会場にて)

『がん征圧月間イベント』

1. 目的

商業施設で行われるイベントにおいて、幅広い世代に子宮頸がんについての啓発を行う。

2. 主催

公益財団法人島根県環境保健公社、松江市

3. 日時

2012年9月1日(土) 16:00~18:15

4. 場所

イオン松江店

5. 参加人数

学生：7名、実行委員：6名

6. 来場者数

約300人

7. 内容

- ・パワーポイントで子宮頸がんについて15分程度の発表。
- ・大学生バンドぼすとん茶の湯会さんと10分程度のトークセッション。
- ・プロバスケットボールチームスサノオマジック選手と10分程度のトークセッション。
(横尾選手、パケット選手、おがっちさん(小片 悦子フリーアナウンサー))



(司会進行)



(スサノオマジック選手とおがっちさん)



(ぼすとん茶の湯会さんとトーク)



(ぼすとん茶の湯会さんと)

